

やまゆりニュース

「やまゆりニュース」第5号 発行日：平成23年8月1日
 発行元 NPO法人あさお市民活動サポートセンター
 〒215-0021 川崎市麻生区上麻生1-11-5
 TEL. 044-951-6321 FAX. 044-951-6467
 発行人：植木昌昭 編集人：佐々木直子

川崎市麻生区市民活動支援施設 麻生市民交流館やまゆり

目次：

「やまゆり」が目指すもの	1
「忘れません。この苦しみ、この痛みを」 東北の復興を祈ります	1
麻生区地域防災計画の概要	2
平成23年度 麻生区消防団 ポンプ操法大会レポート	2
自治会による防災活動 一新百合ヶ丘自治会の取り組み	2
防災お役立ち情報は 区役所で入手！	3
ペットをつれて避難できるの？ ～ペットは災害弱者～	3
やまゆりからのお知らせ	4



「やまゆり」が目指すもの

開館4年を区切に、防災をきり口に「やまゆり」の役割を顧みる。

3月11日の大地震発生後の被災地での町内会・自治会（以下町会）の避難誘導・避難所運営など一連の活動が諸外国で高い評価を得ていると聞く。麻生区には124の町会が組織され、72,200世帯の約68%が町会に加入、安全で安心な地域づくりに取り組んでいる。

だが、多くの町会が高齢化と担い手不足、町会活動への無関心、活動のマンネリ化などさまざまな課題を抱え活動に支障をきたしているとも耳にする。町会が抱えるこのような課題の解決に自主性・自立性に配慮しつつ、寄与することが中間支援組織である「やまゆり」の役割と考えている。次に中間支援機能としての「やまゆり」の事業の一部を紹介。

1. 「やまゆり」(施設)の運営

会議室、サロン、印刷室、情報コーナーの供用が基本、館の多目的活用を図るため機器材を貸与。

2. 市民活動相談窓口の運営

区内の活動団体、活動する場所、各種

セミナーやイベントなどの講師の紹介及び相談の実施(毎週火曜と木曜午後1時30分～4時30分)

3. 自主企画事業

市民活動支援事業として「区民記者養成」「アクティブシニア養成」「ホームページ作成」「チラシ作成」など各種講座の開設 交流促進事業として「区民講師公開講座」「歌声喫茶」「クリスマスコンサート」などを開催。区民同志の交流、仲間づくり、人材の発掘を行っている。更に機材だけでなく蓄積したノウハウや人材をセットにしたサービスを提供し活動支援も行っている。

今後、「やまゆり」は町会活動、とりわけ防災活動に欠かせない地域の連帯・絆の醸成に繋がるさまざまなメニューを提案し、麻生区らしい災害に強いまちづくりに微力ながらお役に立ちたいと考えている。どうぞお気軽に「やまゆり」をご活用ください。

NPO法人 あさお市民活動サポートセンター
理事長 竹市八郎

「忘れません。この苦しみ、この痛みを」東北の復興を祈ります。

3月11日に宮城県沖で発生した大地震・津波で犠牲になられた方々に心から哀悼の意を捧げ、お子さまやご家族のみなさまのご無念に言葉ありません。

被災をされた皆様に心からお見舞いを申し上げます。

東北の復興を実現するには、長期化することが予想されます。「麻生市民交流館やまゆり」では、募金箱を常設

し、皆様のご厚意を被災者の方々へお届けできればと思っております。

送り先については、親を失った子どもたちの心のケアを考え、「あしなが育英会」とさせていただきます。

皆様の、ご協力をお願い致します。



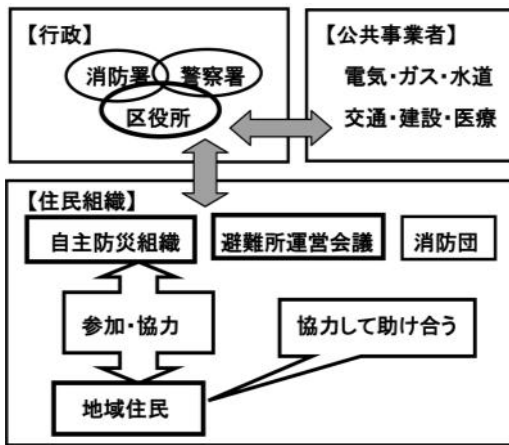
あしなが育英会

東日本津波遺児支援について

あしなが育英会では、特別一時金の給付などの経済的な支援だけでなく、子どもたちへの心のケアにも取り組んでいます。“心を癒す家”「東北レインボーハウス」(仮称)建設も決定。津波遺児の仙台での大学進学の手助けになり、幼い津波遺児にとっては、レインボーハウスに行けば、目標となるような優しいお兄さんお姉さんがいることを目指します。

詳細は <http://www.ashinaga.org/>

麻生区地域防災計画の概要



麻生区の防災体制は、図に示すように行政と公共事業者と住民組織の協力による。特に住民に求められるのは、普段から自分を守る「自助」の気持ちで、災害に備えること。災害時には、地域で互いに助け合う「共助」に努めることである。その仕組みとして、自主防災組織と避難所運営会議があり、麻生区では地域振興課が担当窓口になっている。

自主防災組織は、自治会、町内会、管理組合単位で編成し、普段から防災に関して活動する。区では100%の結

成率を目指しているが、現状では117団体、87%である。

避難所運営会議は、震災時に避難所となる区内25の小、中学校に設立される。原則震度5強以上で開設され、避難者の安全、食糧、備品の確保や情報の管理などを行なう。

麻生区で懸念される震災時のリスクは、家屋の倒壊、火災、ガケくずれである。日ごろから家屋、家財の倒壊を予防し、身を守る。火事を出さない、出したら初期に消火する。ガケくずれの予兆に気を配る。更に、被災後に危険を感じたら、ガスや電気の始末をして、速やかに避難することが求められている。

また、家庭内備蓄として3日分の備蓄品（飲料水、保存食、乳幼児用食品など）と非常持ち出し品（食料品、ラジオ、懐中電灯、電池、防寒具など）の準備も大切である。

詳細は「川崎市麻生区地域防災計画」で検索。 区民記者 中島久幸

レポート

平成23年度麻生消防団ポンプ操法大会

7月3日、「平成23年度 麻生消防団ポンプ操法大会」が麻生水処理センターにて開催された。柿生分団、東柿生分団、麻生東分団の3分団に所属する12班が参加。各町会の消防団員による消防ポンプ操作の機敏さ、正確さ、姿勢や態度などが審査された。競技は団員が4人1組となり「操作はじめ」の合図から、ポンプを操作して放水、標的を倒すまでの時間と、25項目のチェックポイント（減点制）の集計で競う。

優秀賞は東柿生分団の下麻生班（指揮者：齊藤浩城 1番員：間宮健太 2番員：高桑正光 3番員：河原田崇行）、優良賞は東柿生分団真福寺班、努力賞は10班を代表して柿生分団片平班に授与された。



優秀賞に輝いた東柿生分団下麻生班と優良賞の真福寺班選手のみなさん

自治会による防災活動

「お互いの顔の見える街づくり」新百合ヶ丘自治会の取り組み



倉庫内備品を点検する消防防災部長伊澤さん

新百合ヶ丘自治会は王禅寺東2、3、4丁目の住民936世帯で構成、加入率はほぼ100%。樋口誠会長にお話を伺いました。

★防災倉庫を充実しましたね— 一区のご理解とご尽力により先進的な事例として、域内5ヶ所の全公園に設置できました。各庫に20種53点、レスキューキット、担架などの備品のほか消火栓につなぐ消防ホース、チェーンソーなど、取り扱いに注意を要する物も訓練を受けた上で配備しました。

★防災体制は？— 他自治会同様、防災本部を設置していますが、関係役員7人が会の携帯型無線機で連絡し合い迅速な初動体制を組むなど、独自の工夫を加え、より実効性ある組織を目指しています。また、有志15人が防災検討会を作り、防災体制の研究、訓練の企画・実施など熱心に協力してくれています。昨年10月、防災講演会、炊き出し試食会を実施したところ315人が参加しました。

★障害者や高齢者への対応は？— 平成20年の

当会の調査で会員の約2割の方が避難時に支援が必要と回答しています。市の避難支援制度との関連で、役員、民生委員中心に近隣で支える独自の仕組みをいち早く整えました。この制度を利用するには障害者は区の保健福祉サービス課、高齢者は高齢者支援課への申告、登録が必要です。

★最近「災害時助け合い」のアンケート調査を実施したとか— 「積極的に消火・救助活動ができるか」「一人で避難できるか」など会員の実状把握のため3月に実施しました。回収率は64%。「お互いの顔の見える街づくり」を合言葉に、この調査結果を活用し、実情に即した防災体制の構築を目指します。会員の防災意識の高さが支えます。

★ありがとうございました。



区民記者 飯田保幸

樋口誠 会長



市、区、王禅寺中央小学校の協力で行った被災時炊き出し試食会の様子

防災お役立ち資料は区役所で入手！ ～市が発行している防災関連資料～



冊子「備える。かわさき」は麻生区役所3階地域振興課窓口でもらえる



ポケットや定期入れに入るポータブルタイプもあり



川崎市役所第3庁舎2階にある情報プラザ市政資料コーナーでは備蓄計画書や調査報告書などが自由に閲覧できる（1週間まで貸出し可）

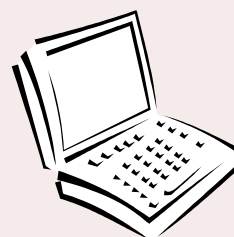
川崎市では、地震や豪雨などの自然災害に遭ったとき、どのように対処すべきかを示したガイドブック「備える。かわさき」を作成。各区ハザードマップや避難所マップとともに無料配布されている。また、各避難所の運営要項など避難所での生活について、詳しいルールなどを掲載した冊子も閲覧可能だ。「そのとき」に備え、一度は目を通しておこう。

■インターネットでは最新情報を提供 「川崎市防災情報ポータルサイト」

<http://portal.kikikanri.city.kawasaki.jp/>
トップページでは緊急情報として、気象情報（各種注意報、警報など）のほかライフラインの情報、避難所の最新情報を見ることができる。英語版のほか、中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語、カダログ語でも情報提供されている。

「川崎防災マップ」

<http://k-map.kikikanri.city.kawasaki.jp/>



各区の避難場所、備蓄倉庫、水防倉庫、給水拠点などが一覧表に。施設名をクリックすると地図が表示される。

ペットを連れて避難できるの？ ～ペットは災害弱者～

尊い人命はもちろん、たくさんのペットたちも犠牲になった今回の東日本大震災。がれきのなか、必死で飼い主を探すペットの姿があった。避難所や一時の仮住まいではペットと一緒に暮らすことは難しい。

麻生区には、平成23年3月末で8,895頭の犬が登録されている。大規模地震などで自宅に住めなくなった場合、大事なペットの居場所はどのようなのか？

麻生区役所地域振興課の杉山課長にお話を伺った。「麻生区の各避難所運営会議要綱の共通ルールに『犬・猫などの動物類は原則として室内に入れることは禁止し、避難所運営会議が指定する場所に収容します』と記されています。指定された場所とは校庭の一角になると思う。たとえば屋外の木になく、柵を設置するなどです。避難したペットは所有者が責任をもって管理してください。」とのことだ。

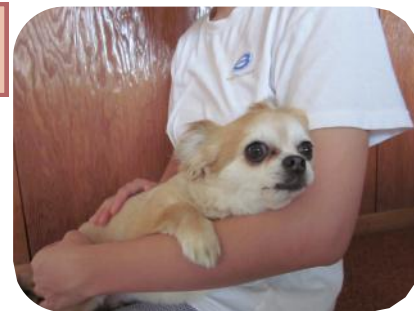
川崎市健康福祉局健康安全室と川崎市総務局危機管理室にお聞きした。「ペットの受け入れについては各避難所運営会議において検討することにな

ります。動物が苦手な人もいるので避難所ごとにルールを作りましょう。

トラブルを防ぐため日常のしつけとマナーが大切です。感染予防のためのワクチン接種、ペットの避難用持ち出し袋の準備をしておく必要があります。川崎市では、災害時ペットのための備蓄物・支援フード・貸出し用ケージはありません。人にとってもペットにとっても避難所生活は過酷なもの、ペットを一時的に預かってもらえる親戚や友人を探しておきましょう。迷子になっても探せるよう迷子札等を付けましょう。

避難所で受け入れられず預け先が見つからない場合は、緊急災害時動物救護本部にペットの一時預かりを依頼してください。係留されていない犬や所有者不明でケガをしているペットは[動物愛護センター ☎044-766-2237]で保護します。」とのことだ。

ペット所有者の事前の準備と連携が求められている。ペットの避難について地域で話し合いをしておくことも必要だ。いざという時はみんなで大事な命を守りたいものだ。



家族と一緒にいたいワン！



犬の避難用持ち出し袋の中身 (参考)

- ・最低3日分のフードと水
- ・リードと首輪（連絡先明記）
- ・糞とり袋 ・ペットシート
- ・新聞紙 ・トイレットペーパー
- ・ビニール袋 ・食器
- ・キャリーバック
- ・クレート
- ・常備薬
- ・ワクチン接種の証明
（ペット可の待機所に入りやすくなる）
- ・動物の写真
- ・飼育メモ（預けるとき役立つ）
- ・動物用の靴下（割れたガラスなどでケガをしないため）



ずっと玄関で待つていた～ワン！

◆やまゆりからのお知らせ

今年も区民講師公開講座が好評のうちに終了しました。

区民講師を中心にしたサークルが2つ立ち上がりました。（会員募集中）

◆【無窮花（ムグンファ）会】



講師：クワン・ソヨンさん

日時：原則として毎月第2・第4火曜日
13:30～の月2回

会費：月1500円

定員：20名前後

内容：ちょっとした会話が出来るぐらいの語学を実習しながら韓国の歴史・文化・習慣なども学び韓国への知識を深めます。

◆【健康どじょうすくい踊りの会】



講師：三浦清市さん

日時：原則として毎月第2・第4月曜日
17:30～の月2回

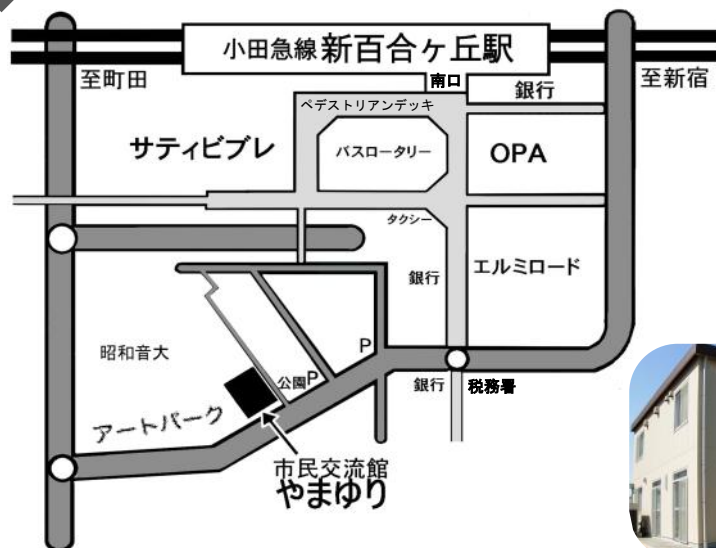
会費：月1000円

定員：20名前後

内容：どじょうすくい踊りは足腰を使うので、音楽にあわせて自然に足腰を鍛えて健康な体づくりを目指します。宴会芸としても今までと違った自分が表現できそうです。

◆今年の地域コミュニティ活動支援事業の団体が決まりました

事業名	内容	団体名
体感しよう！ 廃食用油のリサイクル	廃食用油を回収して、リサイクル石鹸や軽油代替燃料として資源化し生活に還元するとともにCO2削減を目指し、台所からの環境保護活動をひろげ、地域資源循環システムのモデル構築を目指します	かわさきかえるプロジェクト
ふるさと ぶらり旅 ぱーと2	民謡・ご当地ソング・映像による講演と都内にある各県のアンテナショップを巡ることを通して、ふるさとを愛する県人会的な仲間づくりを行います	麻生カラオケ楽会
お母さんへ、母になる女性へ お母さんを愛するすべての人へ	「家族愛」「人間愛」をテーマにした朗読の発表会 朗読の会りんどうのメンバーが一般の人の参加を得て共演したいと思います	朗読の会 りんどう
韓国の文化を理解し 交流を深めよう	韓国に関心のある人たちが、共通のテーマ（語学・文化・芸術・習慣など）で集い、区民講師クワン・ソヨンさんを中心に講座をもつことにより、新しいコミュニティづくりを行います	無窮花会
0～100歳まで見て！聴いて 参加する打楽器演奏	誰にでも参加できる打楽器リズム音楽の特徴を利用し、世代を超える参加型演奏会を開催し、リズム遊びや・演奏の楽しさを体感してもらって家庭やグループに持ちかえってコミュニティの活性化に役立ててもらえればと思います	つくばく
私たちの演奏と踊りで 感動を与えます！	サクスの演奏や歌をみんなで歌ったりします。新舞踊（CD伴奏）を披露してお年寄りの方たちに元気になっていただきたいと思います	ハーモニーギフト



NPO法人あさお市民活動サポートセンター

●所在地

〒215-0021 神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-5

TEL. 044-951-6321 FAX. 044-951-6467

<http://web-asao.jp/yamayuri/>

●アクセス

小田急線「新百合ヶ丘」駅 南口から徒歩4分

●開館時間

月～金 9時30分～17時

※平日夜間・土日・祝日も予約すれば利用可

●休館日

年末年始(12/29～1/3)、施設点検日



市民交流館やまゆり